

# SHINWA REPORT

第7期(2020年度)報告書  
2020.4.1 - 2021.3.31

## 株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
第7期(2020年度)の業績について、ご報告させていただきます。

## 信和株式会社

〒503-0311 岐阜県海津市平田町仏師川字村中30番7 TEL:0584-66-4436

## 当社のDNA『モノづくりへのこだわり』を新たなステージへ。

株主・投資家の皆様におかれましては、当社の成長に変わらぬご支援・ご期待をいただき、心より御礼申し上げます。

当社は1977年に仮設資材のメーカーとして創業いたしました。「仮設資材」は、建設工事に携わるすべての方々の安全や生命を支える必需品であります。当社は、これら工事現場における安全性や作業性の向上に資する製品の開発に取り組み、1988年に発売したくさび緊結式足場『シンワキャッチャー』は、おかげ様でシステム足場業界の国内トップシェアを獲得しております。

当期におきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延という未曾有の状況に見舞われ、建築工事の中断や、新規建設投資案件の延期などの影響が大きく、極めて厳しい状況となりました。そのような中においても、徹底した固定費削減や投資案件の見直し、また足場の安全性を高めるニーズの高まりに応えた製品供給に注力し、収益性を改善することができました。また社内に向けては「従業員の健康が第一」のメッセージのもと、徹底的な衛生対策の励行や、在宅勤務・Web会議などテレワークの活用を推進し、当社従業員の罹患率ゼロで期を終えることができました。

当社は、新たな経営体制をスタートさせ、一層の体制強化と意思決定の迅速化を図ってまいります。新体制の下でも社会になくってはならない技術と製品を有する企業として、“モノづくり”で着実、堅実に社会に貢献してまいります。そして、ステークホルダーの皆様とともに成長できる存在でありたいと考えております。

なにとぞ一層のご愛顧、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

山田 博



## 財務ハイライト第7期(2021年3月期)

詳細な財務情報は、当社のIRウェブサイトをご覧ください。 <http://ir.shinwa-jp.com>

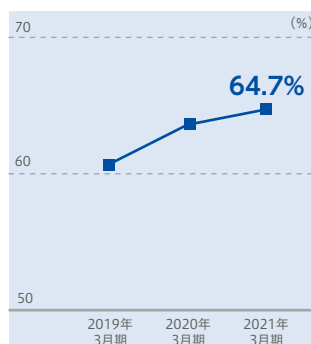
### 売上収益



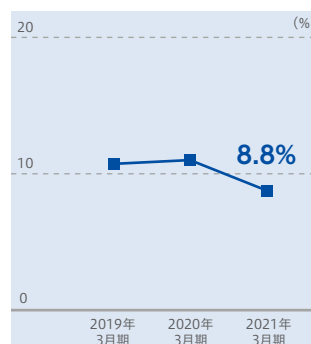
### 親会社の所有者に帰属する当期利益



### 親会社所有者帰属持分比率



### ROE



# 事業の内容について

## 仮設資材部門

建設現場などで用いられる仮設足場は、主に低層～中層用で使用されるシステム足場※(くさび緊結式足場)と中層～高層用で使用されるシステム足場(次世代足場)並びに、主に高層用や大規模施設等で使用される枠組足場の3種類に大別されますが、当事業においては、主にシステム足場(くさび緊結式足場・次世代足場)の製造・販売を行っております。門型の建枠にジャッキベース・

交差筋かい・踏板等の基本部材を組み合わせ、積み上げていく枠組足場と比べ、システム足場は各製品(支柱・手すり・踏板等)が軽量かつシンプルな形状となっております。

当社が提供するシステム足場は、出荷金額ベースで市場シェア約30%の第1位となっております(当社調べ)。

※ システム足場とは、「くさび緊結式足場」と「次世代足場」の総称です。

### 次世代足場について

次世代足場は、従来の枠組足場における寸法規格に準拠して作られている一方、くさび緊結式足場と同様に組み立て式となっております。また、くさび緊結式足場と比較して、手すりの抜け止め機能や支柱本体のロック機能が備わっており、高所作業における安全性・安定性を高めた製品であります。

当社の「SPS(サイレントパワーシステム)」は、国内最高水準の作業性と「静音性」を兼ね備えています。



### 当社取扱製品及び主力製品

システム足場	足場の種類	くさび緊結式足場 『シンフキャッチャー』	次世代足場 『SPS(サイレントパワーシステム)』『NDS(ダーウィン)』	
	主な用途	低層～中層向け (戸建住宅・マンション等)	中層～高層向け (大型マンション・ビル・大規模施設等)	
	当社の製品	 シンフキャッチャー	 SPS	 NDS

## 物流機器部門

物流機器部門では、主に工場、倉庫、建設現場における物品の保管・搬送等に使用される物流機器の製造・販売を行っております。

用途に合わせて様々な製品を製造しており、自動車部品、液晶パネル用ガラス等の保管・搬送用パレット及びスチールラックといった物品保管用の物流機器を、顧客の要望に基づいて企画設計・製造をし、顧客のニーズに最も適した製品を提供できるよう努めております。



## 第7期(2021年3月期)の概況

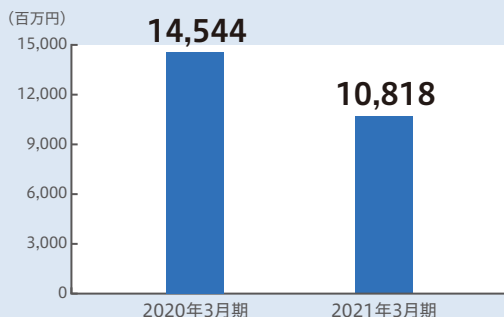
### 仮設資材部門

仮設資材部門は、主に戸建住宅などの低層から中層をターゲットにした「くさび緊結式足場」と、中層から高層の大型施設や公共工事をターゲットにした「次世代足場」の2つの製品群を展開しております。

当連結会計年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言発令の影響などによる建築工事の中断・延期、並びに、新規建設投資案件の延期等の影響を受け、仮設資材全体の需要は落ち込みました。一方、工事現場の安全性向上を目的とした安全措置資材の需要は引き続き高く、これらの供給に注力することで、売上収益を下支えいたしました。

これらの結果、仮設資材部門の売上収益は10,818百万円(前期比25.6%減)となりました。

#### 仮設資材部門の売上収益



#### POINT

建築工事・新規建設投資案件の中断・延期等の影響により、全体の需要は落ち込んだ

現場の安全性向上に資する「安全措置資材」の需要は引き続き高まる

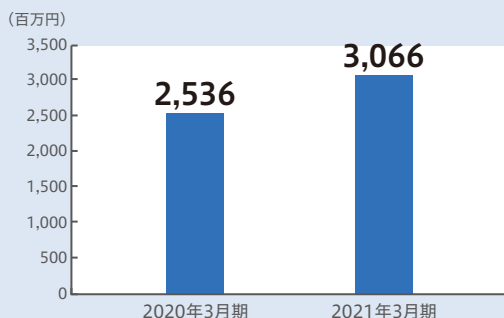
### 物流機器部門

物流機器部門は、建設業界のみならず、自動車や物流倉庫など幅広い産業に向けて、オーダーメイドによる「運ぶ・収納する」ソリューションを提供しております。

当連結会計年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が主に海外との物流減少の影響を与え、一部分野では需要の落ち込みが見られましたが、自動車産業や半導体産業など、企業活動の持ち直しがみられたことや、物流倉庫分野でも新規案件が獲得できたことなどにより、堅調に推移いたしました。

これらの結果、物流機器部門の売上収益は3,066百万円(前期比20.9%増)となりました。

#### 物流機器部門の売上収益



#### POINT

海外との物流減少の影響を受け、一部分野では需要の落ち込みが見られた

自動車、半導体産業の持ち直しや物流倉庫部門での案件獲得により堅調に推移した

## 環境・社会への取り組み

企業を取り巻く環境は、日々大きく変化しております。また、企業が取り組むべき課題についても、単に収益や利益によるものだけではなく、地球環境や地域社会への貢献も包含した形での持続的な企業成長が求められております。

私たちの取り組みはまだ小さな動きでしかありませんが、当社の企業理念である「Our Credo」の考えを発展させ、お客様をはじめ株主様、地域社会など幅広いステークホルダーから、より一層信頼される企業となることを目指し、これからの活動の幅を広げてまいります。

### ■ 建設現場の社会課題を解決

建築現場においては、労働者の減少や高齢化などの問題に加え、働き方改革によって一層の効率化が求められています。

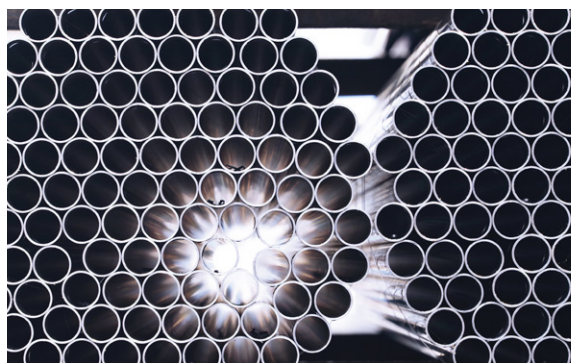
当社の主力製品である「シンワキャッチャー」「SPS」は、軽量・簡単・安全なシステム足場。さらに静音性も兼ね備えています。建築現場だけではなく周辺環境まで含めた社会的な課題の解決に貢献していきます。



### ■ 限りある資源の使用抑制とリサイクル

鉄はリサイクルの優等生。当社で発生する鉄スクラップは、全て回収され、新しい鋼材の原料になります。

また当社では製品ごとに最適な長さのパイプを購入することで、鉄スクラップの発生量自体を抑制しているほか、コストダウンにも貢献しています。



### ■ スポーツを通じた地域コミュニティへの参画

当社は、地域社会の健康増進と活性化に貢献すべく日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）に加盟するFC岐阜とパートナー契約を締結しています。

FC岐阜の選手や施設等を活用した定期的なスポーツ教室の開催や、子供たちを試合観戦に招待することで、夢や笑顔を届ける活動に取り組んでいます。



### ■ 働きやすい労働環境をめざして

当社は「従業員のやる気を応援し、夢と未来の実現を支える」を理念の一つとして掲げており、福利厚生面など様々な視点からより良い労働環境作りに取り組んでおります。そしてこの度、経済産業省と日本健康会議が主催する「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」として認定されました。



2021

健康経営優良法人

Health and productivity

## 連結財務諸表(国際会計基準)

### 連結財政状態計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>8,345</b>	<b>9,290</b>
現金及び現金同等物	3,120	4,738
営業債権及びその他の債権	2,777	3,006
棚卸資産	2,405	1,483
その他の流動資産	42	62
<b>非流動資産</b>	<b>13,274</b>	<b>12,945</b>
有形固定資産	2,370	2,054
使用権資産	353	380
のれん	9,221	9,221
無形資産	1,258	1,237
その他の金融資産	59	41
その他の非流動資産	11	10
<b>資産合計</b>	<b>21,620</b>	<b>22,236</b>

### 連結損益計算書

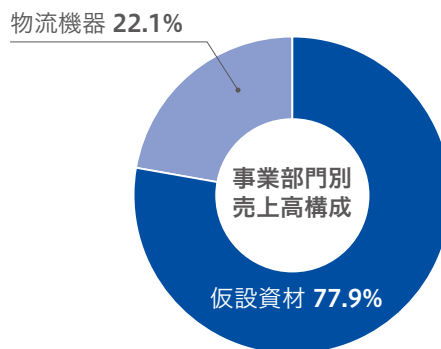
(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2019年4月1日～ 2020年3月31日)	当連結会計年度 (2020年4月1日～ 2021年3月31日)
売上収益	17,081	13,885
売上原価	△12,751	△10,263
<b>売上総利益</b>	<b>4,329</b>	<b>3,621</b>
販売費及び一般管理費	△2,127	△1,809
その他の収益	15	70
その他の費用	△6	△30
<b>営業利益</b>	<b>2,210</b>	<b>1,853</b>
金融収益	0	0
金融費用	△70	△69
<b>税引前利益</b>	<b>2,139</b>	<b>1,784</b>
法人所得税費用	△671	△541
<b>当期利益</b>	<b>1,467</b>	<b>1,242</b>
<b>当期利益の帰属</b>		
親会社の所有者	1,467	1,231
非支配持分	0	11
<b>当期利益</b>	<b>1,467</b>	<b>1,242</b>

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>(負債及び資本の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>2,018</b>	<b>2,428</b>
営業債務及びその他の債務	739	803
借入金	495	581
未払法人所得税	432	593
その他の金融負債	83	92
その他の流動負債	267	357
<b>非流動負債</b>	<b>5,814</b>	<b>5,364</b>
借入金	5,202	4,717
引当金	45	45
その他の金融負債	240	293
繰延税金負債	321	303
その他の非流動負債	3	3
<b>負債合計</b>	<b>7,832</b>	<b>7,793</b>
<b>(資本の部)</b>		
<b>親会社の所有者に帰属する持分</b>	<b>13,740</b>	<b>14,379</b>
資本金	150	153
資本剰余金	6,951	6,969
利益剰余金	6,640	7,252
その他の資本の構成要素	△1	4
非支配持分	47	63
<b>資本合計</b>	<b>13,788</b>	<b>14,443</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>21,620</b>	<b>22,236</b>

### 事業部門別売上高構成 (2021年3月期)



## 第7期のIR活動について

第7期は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、各種イベントの中止や、往來の制限などで訪問・面談の機会が大きく減少いたしました。

そのような中でも、当社の決算情報などを分かりやすくお伝えするため、四半期決算の補足説明資料動画を当社ホームページ及びYouTubeチャンネルに掲載したほか、アナリスト・機関投資家様には四半期ごとの電話会議やWebミーティングを開催するなど、コロナ下でもコミュニケーションを図るべく、様々な手法を模索し、実施してまいりました。

当社は、積極的にIR活動を行う方針に変更はございません。今後も企業価値向上の一助とすべく、継続的にIR活動を展開してまいります。



### YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCIPSIHU5CW8i8-YGg4dRIQjg/featured>



### Twitter

<https://twitter.com/shinwajp>



## 会社概要 (2021年3月31日現在)

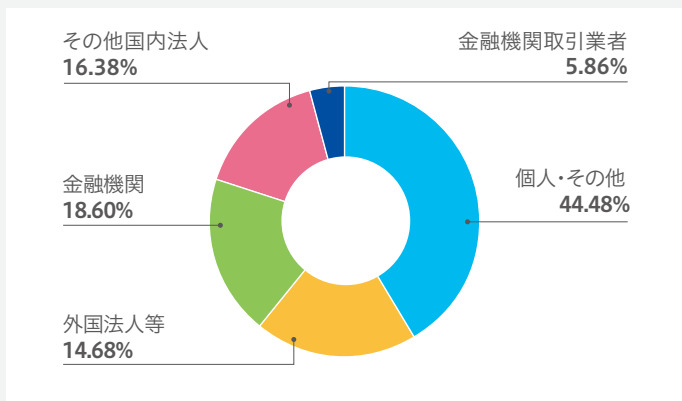
社名	信和株式会社 Shinwa Co.,Ltd.
設立	2014年8月11日(実質的な設立:1979年8月)
資本金	153百万円
主な事業内容	仮設資材、物流機器の製造・販売
従業員数	148名
本社所在地	岐阜県海津市平田町仏師川字村中30番7
営業拠点及び工場等	東京支店/大阪支店/名古屋オフィス/幸手事務所/福岡支店/長崎支店/土倉工場/土倉機材センター/杉戸機材センター/横浜機材センター/関西機材センター/熊本機材センター/広東日信創富建築新材料有限公司(中国・広東省佛山市)/ベトナム協力工場(ベトナム・ホーチミン)

## 株式情報 (2021年3月31日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数	55,153,600株
発行済株式の総数	14,103,000株
株主数	11,952名

### 所有者別分布状況 (2021年3月31日現在)



### 配当方針

当社は、将来における安定的な企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な内部留保資金を確保しつつ、経営成績に応じた利益還元を行うことを基本方針とし

## 配当性向 40%以上

を目標に実施してまいります。

第7期(2020年度)実績 1株当たり配当金 **35.00円** 配当性向 **40.0%**  
(連結ベース)

## 株主メモ

証券コード	3447
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部・名古屋証券取引所 市場第1部
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	3月31日
1単元の株式数	100株

## 役員 (2021年6月25日予定)

代表取締役会長	山田博
代表取締役社長	則武栗夫
専務取締役	平野真一
社外取締役	芹澤浩
社外取締役(監査等委員)	伊藤佐英
社外取締役(監査等委員)	谷口哲一
社外取締役(監査等委員)	阿知波知子

### 大株主 (上位10名・2021年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,021,900	7.2
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	925,300	6.5
アルインコ株式会社	689,400	4.8
阪和興業株式会社	689,400	4.8
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG(FE-AC)	626,375	4.4
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	312,025	2.2
J P モルガン証券株式会社	285,967	2.0
RE FUND 107-CLIENT AC	279,600	1.9
クレディ・スイス証券株式会社	175,562	1.2
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	144,400	1.0

## 当社ホームページのご案内



様々な情報を  
ホームページで  
ご覧になれます。

<https://www.shinwa-jp.com>

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載方法	当社の公告は、電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法によって行います。 当社の公告掲載URLは次のとおりであります。 <a href="http://ir.shinwa-jp.com/ja/announce.html">http://ir.shinwa-jp.com/ja/announce.html</a>